

イタセンパラは日本固有種で、現在は木曾川水系、淀川水系、富山県氷見市のみ分布する、全長10cmになる大型のタナゴ類で、主に附着藻類を餌にしています。また、イタセンパラは1974年に種指定の国の天然記念物に指定され、1995年には種の保存法(1992)にもとづく国内希少野生動物種に指定されています。環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧IA類(CR)であり、最高のランクに位置づけられる貴重種です。河川敷内のワンドなどに生息しており、生息環境の悪化により、近年、絶滅の危機に瀕しています。また、本種は二枚貝に産卵するという繁殖形態をもつため、生息環境の悪化による二枚貝の減少や貴重種ブームによる密漁も原因の一つとして挙げられます。

現在の生息環境をみると、次のようになっています。①河床低下に伴い本川とワンドの比高が拡大し、通水性の減少により水循環が悪化 ②ワンド周辺の樹林化が進行し、落葉がワンド内に堆積することによる嫌気化や水際の浅場が日影になる事によりイタセンパラの

餌となる藻類が生育しないなど、イタセンパラや二枚貝の生息に厳しい状況が生じています。

そこで、これらの要因からイタセンパラを護るため、平成22年3月、学識者、環境省、国土交通省、警察、自治体などから成る木曾川イタセンパラ保護協議会を立ち上げ、地元住民やNPO法人などの参加による密漁監視パトロールや環境学習などの活動を実施しています。また、地盤の盤下げや樹木伐開による冠水・攪乱頻度の改善、底泥除去を実施し、二枚貝を移動するなどの環境改善を実施し、イタセンパラや二枚貝の生息環境改善を行うことにより生育場の保全を図っています。



下流から望む

国土交通省中部地方整備局
河川部 河川環境課長
水谷直樹

Information & news

ARRC と読者を結ぶ広場

全国豊かな海づくり大会に出展しました

「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～せき海づくりフェスタ」に出展しました。海づくり大会が海のない県で行われるのは初めてで、とても意義のある大会となりました。出展では、会場である関市に棲む4種類の二枚貝を使って、子どもたちに「貝探しゲーム」をしてもらいました。初めて貝に触れるという子どもも多く、地域の環境保全への関心を高めるよい機会となりました。



河川環境研修を実施しました

実験河川が持つ様々な河川空間を活用して、フィールド体験型の河川環境研修を実施しました。まず川を歩き、早瀬や淵などの環境を体感してもらい、陸上から見るだけでは分からない川の中の様子を理解してもらいました。他にも物理環境調査や魚類調査を行い、実際に川で研修を実施することで、具体的な感覚を身につけていただきました。



独立行政法人 土木研究所
自然共生研究センター
AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER
Incorporated Administrative Agency Public Works Research Institute

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町官有地無番地
Tel 0586-89-6036 Fax 0586-89-6039
<http://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/index.htm>

視察・見学のご案内

自然共生研究センターは、どなたでもご自由に視察・見学することができます。皆さん、ぜひお越しください。

視察・見学をご希望の場合 所定の申込書で受付致しますので、下記のいずれかの方法で申し込みください。



電話ご利用の場合

その折、申込の方法についてご案内します。

Tel 0586-89-6036



インターネットご利用の場合

ホームページの申込書をご利用ください。

<http://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/index.htm>



メールご利用の場合

申込書を添付・送信いたします。

E-mail: kyousei4@pwri.go.jp

技術相談 受付中

自然共生研究センターでは、河川環境の保全・復元に関する技術相談を随時受け付けています。

技術相談可能なカテゴリ一例は以下の通りです。

多自然川づくりに関する技術相談

自然再生事業に関する技術相談

正常流量に関する技術相談

ダム下流域の生態系評価に関する技術相談

机上での相談だけでなく現場での対応も可能な場合がありますので、ご相談ください。

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずして Noah's ark(ノアの方舟)と同じになった。

交通のご案内

自動車をご利用の場合

東海北陸自動車道 岐阜各務原ICより10分、一宮木曾川ICより10分

(研究棟へは河川環境楽園西口駐車場が便利です。川島PAより徒歩で来ることができます。)

電車をご利用の場合

名鉄名古屋駅または名鉄岐阜駅から笠松駅へ
(笠松駅からタクシーで10分、笠松町民バスで「スポーツ交流館前」下車)
(名鉄岐阜駅から岐阜バス(川島前渡線 川島・長平方面行き)で「米野」下車)

